

の区別にしたがうのである。動力車に牽引される車両はすべてトレーラとして区別されている。またイギリスにおけるトラックは車台の固定式のもの (rigid motor) と関節式のもの (articulated motor) との区別があり、後者が多数を占めている。

公共旅客営業用車両は前記区別によるのはかバス (bus) とコーチ (coach) の区別がある。バスはだいたいにおいて近距離用のもので、市内バスはこれに属し、赤色塗装を施してコーチと区別している。コーチは長距離用のバスで都市と郊外を結ぶ路線に使用され、緑色塗装を施し一般にグリーン・コーチと呼ばれている。またバスまたはコーチには1階バスと2階バスの2種があるが、都市においては2階バスが多数を占めている。動力による区別はディーゼル車が大多数であるが、ガソリン車もまだ残存している。

(2) 車両数 1953年度イギリスにおける自動車の総数はつぎのとおりである。

乗用車	2,808,000 両
トラック	995,900
バス	69,900
合計	3,873,800

イギリス本土における総人口は1951年の調査によれば5,437万人であるから、乗用車1台当り人口は19人となる。

つぎにイギリス運輸委員会の保有する自動車はトラックが約7万8千両で全体に対し約7%、バスが約2万5千両で全体に対し約36%の割合である。

1953年度運輸委員会の保有車両をサービス別、車種別に示すとつぎのとおりである。

ア イギリス道路サービス

固定式および関節式貨物自動車 35,849 両

イ イギリス鉄道集配サービス

固定式貨物自動車、トラクター
およびトレーラ 6,241
関節式貨物自動車およびトレーラ 34,783
馬車 5,394
事務用車 1,797
計 48,215

ウ 道路旅客サービス

バス 12,226
コーチ 2,242
トロリーバス 11
事務用車 699
計 15,178

エ ロンドン運輸

バス 8,094
コーチ 372
トロリーバス 1,797
計 10,263

5 営業

(1) 運賃 イギリスにおいて、自動車による運賃に対しては法律上何らの規制が加えられていないので、業者はこれを自由に決定することができる。しかしロンドン運輸の旅客運賃については1947年運輸法によって運賃料金計画書を作成し運輸審判所の承認を得ることが必要となっている。

自動車による貨物に対しては鉄道の場合のように統一された等級貨率表がないが、だいたいにおいて3種の運賃が区別されている。すなわち、① 一般貨物に対する普通運賃 ② 嵩高品 (かさだかひん)、易損品に対する比較的高い運賃 ③ 原

料品または急送を要しない貨物に対する比較的低い運賃の区別がこれである。また貨率は1t当りに対して定められ、他の貨物と混載できるか否かによって、または託送量の異なるによっても貨率を異にする。

以上の範囲内で貨物運賃は比較的融通性をもって決定されるのであって、業者は時の情勢によって対人的な、または対物的な差別運賃を決定することがある。

バスに関しても監督官庁において全国的に運賃を統一するというとはなく、各企業は免許条件に制限がないかぎり自由に運賃を決定しており、また各種の割引運賃も各企業の発意によって実施されている。割引運賃は都市と地方によって相違があるが、たとえばロンドン運輸のバスにおいては早朝割引、盲人割引のように特殊な割引制度を実施している。

(2) サービス イギリス本国には総計29万7千kmの公道があるが、このうち1級道路は4万4千km、2級道路は2万8千kmであって、自動車運送はだいたいにおいてこれら1級および2級の道路によって行われている。

イギリスの自動車運送は運輸委員会によって行われる国有自動車運送と民間業者によって行われる民間自動車運送に大別されるが、運輸委員会によって行われるサービスは主要つぎのとおりである。

ア イギリス道路サービス

(イ) 一般サービス (ロ) 小口貨物サービス (ウ) 特定賃貸サービスの3種がある。(イ)の一般サービスはさらに細分して、A 一般貨物運送 B ピックホード運送 C 特約運送の3種に区分される。Aは一般貨物を定期的に運送するものでイギリス道路サービス会社 (British Road Service Ltd.) に業務を委託している。全国を8つの管区 (Division) に区分し、各管区をさらに若干の地区に区分して業務を行わせている。このサービスが一見して識別されるよう、使用車両には赤色の塗装が施されている。Bは家具、液体、異常に分割不能な重量品など特殊貨物を運送するもので、イギリス道路サービス (ピックホード) 会社 (B.R.S. [Pickford] Ltd.) に業務を委託している。使用車両には青色の塗装が施されている。Cは貨物車両の使用期間を契約して荷主の専用に供するもので、いわば貨物自動車の賃貸であるが、荷主の独自の要求にしたがって車体を設計し、塗装してあることが特長となっている。この業務はイギリス道路サービス (特定) 会社 (B. R. S. [Contract] Ltd.) に委託されている。

(ロ)は小口扱貨物と小荷物の運送を運輸委員会の手によって全国的に直営するもので、これに使用する車両には青色の塗装が施されている。

(ウ)は運輸委員会所属貨物自動車を一定の期間、特約によって荷主に提供するサービスをいう。

なお1953年運輸法によって長距離道路貨物運送に用いる車両は1954・1以降民間に売却されたが、運輸委員会保有車両約3万6千両のうち、およそ3万2千4百両が売却の対象となり、3千6百両は運輸委員会が道路サービスを行うために保留している。

イ イギリス鉄道集配サービス

イギリス鉄道は小口扱貨物の集配ばかりでなく、車扱貨物の集配も自己の手で行っている。使用車両は大部分自動車であるが、荷馬車もなお若干用いられている。

第2次世界大戦前においては主として駅間運送は鉄道により、駅と荷主の間の集配を自動車によって行ったに過ぎなかったが、現在は近距離貨物については戸口から戸口までをトラックによ